

施策番号	0804		
施策名	伝統産業の活性化と新たな展開の推進		
概要	京都の基盤産業である伝統産業の活性化を図るため、事業者等による新たな販路開拓の取組に対する支援事業、普及啓発、技術の継承や後継者の育成などの施策を積極的に展開する。		
担当局・部室	産業観光局・商工部	共管局・部室	
上位政策	8 産業・商業		
施策に関係する 主な分野別計画等	第3期京都市伝統産業活性化推進計画		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		28年度	29年度	30年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	伝統産業製品の出荷額(億円)	a	a	1,716	1,719	1,716	100.2%	a	1.00
2	「伝統産業の日」事業の来場者数(人)	a	a	312,005	387,995	300,000	129.3%	a	1.00
3	新たな販路開拓を目指す事業の参画事業者数(事業者)	a	a	121	146	101	144.6%	a	1.00
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		28年度	29年度	30年度回答					
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	京都の特色を生かした産業活動が行われている。	b	b	52 11.9%	235 53.8%	107 24.5%	26 5.9%	17 3.9%	437
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		b	b	市民生活実感調査総合評価					b

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている						
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 伝統産業の活性化施策の実績は、伝統産業製品の出荷額や伝統産業に接したことがある市民の割合などの客観的数値に表れるものであり、客観指標評価を重視して評価することが妥当であると考えられるため						29年度	A
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。						28年度	A
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		30年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		29年度 決算額	30年度 予算額		
1	技術功労者顕彰制度	13,233	14,311	良い	産業観光局
2	京都伝統産業ふれあい館運営	26,040	25,020	良い	産業観光局
3	「伝統産業の日」関連事業	19,884	19,884	良い	産業観光局
4	京の「匠」ふれあい事業	23,883	23,986	良い	産業観光局
5	京都市伝統産業「未来の名匠」認定制度	4,477	4,140	良い	産業観光局
6	「京都館」運営	127,434	0	良い	産業観光局
7	京都市伝統産業設備改修等補助制度	45,927	51,941	良い	産業観光局
8	後継者育成事業	11,479	8,361	かなり良い	産業観光局
9	「日本酒乾杯条例の普及促進」	5,462	4,962	良い	産業観光局
10	販路開拓、産地商品宣伝	42,794	36,588	良い	産業観光局
11	伝福連携担い手育成支援事業	0	6,020	－	産業観光局
12	「京都×パリ」京ものアート市場開拓支援事業	0	35,530	－	産業観光局
13	京都・パリ友情盟約締結60周年を契機とした産業・観光振興	0	11,137	－	産業観光局
14	京もの海外進出支援事業	32,446	0	－	産業観光局
15	未来へつなぐ「きものまち・京都」プロジェクト	5,520	6,450	－	産業観光局
16	京都伝統産業ふれあい館を核とした新たな伝統産業振興事業	22,040	22,040	－	産業観光局
17	伝統産業製品の販路開拓支援～パリ友情盟約締結60周年プレ事業～	7,954	0	－	産業観光局
18	京都伝統産業ふれあい館リニューアル事業	3,962	18,458	－	産業観光局
19	明治150年記念伝統産業活性化支援事業	0	5,020	－	産業観光局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・出荷額の向上、販路の開拓
客観指標である伝統産業製品の出荷額は対前年度比で3億円増加した。引き続き、京都はもとより、首都圏や海外における「京もの」のPR、販路開拓に関する取組の支援及び情報発信を実施していく。
- ・伝統産業の日、市民の伝統産業製品の使用の拡大
「伝統産業の日」事業などを通じて魅力を市民に発信することで、日常的に京都の伝統産業製品を使っていたできるように取り組んでいく。
- ・総括
京都市伝統産業活性化推進条例に基づく京都市伝統産業活性化推進計画は、平成29年度より第3期計画へと移行した。引き続き同計画に基づいた積極的な事業の推進を図ることで、市民生活実感の更なる向上を図り、伝統産業の活性化と新たな展開を推進する。

施策名	0804	伝統産業の活性化と新たな展開の推進				
-----	------	-------------------	--	--	--	--

指標名	伝統産業製品の出荷額（億円）					
-----	----------------	--	--	--	--	--

担当課	伝統産業課	連絡先	2 2 2 - 3 3 3 7		
-----	-------	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

京都市指定の伝統産業製品を対象とした出荷額

2 指標の意味

伝統産業の活性化の状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：業界アンケート調査

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	27年度	28年度		数値	根拠	達成度
数値	1,716	1,719	3億円増加	1,716	27年度比出荷額減少率の縮小（第3期京都市伝統産業活性化推進計画）	100.2%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：80%以上
b：60%以上～80%未満
c：40%以上～60%未満
d：20%以上～40%未満
e：20%未満

6 基準説明

民間部門の寄与度が比較的高いことや景気動向にも大きく影響を受けるため、80%以上の達成をa評価とし、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

28	29	30
a	a	a

備考

・集計時期の関係上、最新数値は28年度数値となる。また、最新数値の公表時に過年度数値を遡って修正することがある。

1 指標の説明

「伝統産業の日」関連事業全ての来場者数の合計

2 指標の意味

「伝統産業の日」事業の取組状況を示す指標

3 算出方法・出典等

出典：「伝統産業の日2018」事業実績

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	28年度	29年度		数値	根拠	達成度
数値	312,005	387,995	75,990人増加	300,000	第3期京都市伝統産業活性化推進計画	129.3%

	全国順位	中長期目標			
		数値	目標年次	達成度	根拠
数値					

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a：100%以上
b：90%以上～100%未満
c：80%以上～90%未満
d：70%以上～80%未満
e：70%未満

6 基準説明

100%以上の達成をa評価とし、以下10%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

28	29	30
a	a	a

備考

施策名	0804	伝統産業の活性化と新たな展開の推進					
指標名	新たな販路開拓を目指す事業の参画事業者数（事業者）						
担当課	伝統産業課		連絡先	2 2 2 - 3 3 3 7			
1 指標の説明							
首都圏及び海外市場において新たな販路開拓を目指す「京ものアート市場開拓支援事業」，ならびに若年層の需要の掘り起こしを目指すオンラインショップ「京もの専門店『みやび』」への参画事業者数の合計							
2 指標の意味							
意欲的な業界や事業者と連携した市場創造につながる取組の状況を示す指標							
3 算出方法・出典等							
出典：「京ものアート市場開拓支援事業」「京もの専門店『みやび』」事業実績							
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	29年度	30年度		数値	根拠	達成度	
数値	121	146	25社増加	101	平成23年度現況値の10%増	144.6%	
	全国順位	中長期目標			備考	京ものアート市場開拓支援事業 27社 京もの専門店「みやび」119社	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値							
5 評価基準							
最新数値の目標値に対する達成度が a：100%以上 b：90%以上～100%未満 c：80%以上～90%未満 d：70%以上～80%未満 e：70%未満							
6 基準説明							
100%以上の達成をa評価とし，以下10%刻みで基準を設定した。							
7 評価結果							
28		29		30			
a		a		a			